



下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

校長 船木 淳

横浜市では、学校教育目標の実現に向けて3年ごとに経営方針を見直し、重点的に育成を目指す資質・能力を明確にしています。後日学校説明会の資料としてお配りする「令和4-6年度版 中期学校経営方針」がそれです。今年度は、見直し後の1年目になります。本校でも昨年度から1年をかけて、経営方針の見直しに取り組んできました。目標設定のスタートは子どもたちの実態です。

まず、職員全員が個人で下和泉小学校の現状について考察し、子どもの実態と子どもたちを取り巻く環境の実態について【強み】と【課題】を洗い出しました。そしてその内容を、学年ごとのブロックで共有し整理しました。職員の考える【強み】には「素直」「優しい」「元気」「のびのびしている」など、「協力的な保護者」の皆様や「自然豊か」な地域の中で育った子どもたちならではの、教えて育成できるものではないキーワードが多くみられました。その一方で【課題】として挙げられたのは「自信」「想像力」「コミュニケーション能力」「自己肯定感」など、集団の中で自己実現を目指すために必要な言葉でした。

次に、これを受け、経験年数別のグループで、「こんな子どもたちを育てたい」という視点で、「教育活動全体で育成を目指す資質・能力」について話し合いました。また、現状の課題を解決し子どものもっているよさを学習意欲につなげるために、どんな活動が有効なのか、どんな場が必要なのかなどの具体的な取組についても意見交換をしました。

このような過程を経て決めた「育成を目指す資質・能力」は、「自分らしさを発揮する姿勢」「多様性を尊重する態度」「思いや考えを表現する力」の3つです。今後3年間、下和泉小学校が常に意識して取り組んでいく、最上位目標です。学校生活の様々な場面で、この3つを育成していくための学習活動や発達段階に応じた「しかけ」を設けていきます。

私たち教職員も、自分の思いや考えを伝え、自分らしさを発揮する中で、お互いを尊重し合える関係を築きたいと思います。

キラリンピック成功の陰に



土曜日に行われたキラリンピックでは、温かい拍手をたくさんいただきありがとうございました。

この日を成功させようと、6年生は自分たちにできることを考え、コロナ禍で可能な7つのプロジェクトを作って活動してきました。4回行われた実行委員会では、一人一人がその日やるべきことをしっかり理解したうえで活動に参加していることがよくわかり、この2か月での成長を感じることができました。

感染症対策のためにマナーを守り優しく見守っていただいた保護者のみなさんと、粘り強く努力を続けてきた子どもたちが創り上げた、素敵な運動会でした。